

# 保育おおさか

# No. 486

平成 28 年 2 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54  
TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426  
http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

## 海外研修

# 子どもの個性を活かし能力伸ばす —毎年保育テーマを変え、固定概念にとらわれず、多様な方向から教育

今年度の海外研修は(団長・坂門ヶ原保育園園長、齊藤和正氏。副団長・天宗清見台園長、土井昭氏)1月8日～1月13日の日程でイタリアのローマ・ナポリを訪問。21施設から33人が参加し、現地の保育施設「AMEMIPIACE」を見学しました。(関連記事2面)



視察施設はイタリア、ローマの中心地から約30分の場所にある高級住宅が並ぶエウル地区にあります。

心理学者であり、心理療法士また健康心理学者でもあるボツカチーニ教授が、自身の教育理念の「実践を通して学ぶ」を形にするため設立した施設です。「AMEMIPIACE」の名前の由来は、文法的には間違いなのですが、子どもが発音しやすい「園に行くのが好きだよ」という意味から、この名前がついたそうです。

## 心理学を学んだコーディネーターを配置

この施設は1,400平方メートルの建物と、4,000平方メートルの広い庭があります。建物は2階建てで、1階が保育園、半地下が幼稚園で、どの階も庭につながっています。

園長の他に数名の心理学を学んだコーディネーターと、教育者(日本でいう「保育士」、バイリンガル教育の専門の先生を配置、子どもたちは「海」と「森」と名付けられたスペースで、0～2歳児が利用する「保育園」と3～5歳児が利用する「幼稚園」に分かれて活動しています。

現在、3～6カ月と7～12カ月のクラスは約20人の子どもがいます。13～18カ月は15人、19～24カ月は14人、25～30カ月は18人です。31～36カ月の子どもは保育園から幼稚園へ移行します。幼稚園は6つのクラスに分かれており、3歳20人、4歳20人、5歳20人がいます。

教育者の割合は乳児が5人に対し

(2面に続く)



最近ではスマートフォンやパソコンの普及により、「漢字離れ」が全体的に進んでいるように思えます。

娘が小学生のころ、初詣に三重県の伊勢神宮へ連れて行きました。「天照大御神」という漢字を見て、「テンテラス」って何? というのを聞いて、漢字の音読み・訓読みは結構複雑だな、という気もちと、しっかりと教えないといけなかった、という気もちをもちました。

日本全体で配られる年賀状の枚数も減少傾向とのこと。メールやLINEを簡単に送れる時代。自分自身、自筆の手紙を書く機会が減っているような気がします。

仕事上で必要な書類もパソコンで作成することが多く、漢字変換も簡単にできるため、いざ書こう!と思うと「あれ、どの漢字だったかな?」と迷うこともしばしばです。

とても便利で高速な情報社会だからこそ、お正月・節分などの日本の伝統文化の継承と、「ひらがな」「漢字」などの大切さを感じてほしい。今日このごろです。

(編集委員 M・K)



庭は全階につながっています



給食のメニュー表



会員施設から168人参加

式典では「育児相談員」の認定証交付式が行われ、今年181人の方が認定を受け、げんき保育園（千早赤阪村）の前田美穂さんが代表して受領されました。

続いて大阪府保育士協会10年感謝状贈呈式が行われ、201人の方に贈呈。たちばな保育園（茨木市）の岡田加梨さんが代表して受領されました。今後のご活躍を期待しています。（事務局）



左：岡さん 右：前田さん

（1面からの続き）

て1人、幼児には7人に対して1人が配置されており、教育者は全員で23人在籍しています。

### 給食は

### 季節によって工夫

給食にも力を入れていて、離乳食のサポートやアレルギーにも対応しています。メニューは季節によって工夫し、野菜や果物が中心で揚げ物はほとんど使われていません。掲示板にメニューを掲げ、保護者にも分かるように知らせています。

### 5つの価値観をテーマに保育

施設を利用する親子ともに、身体的、精神的な健康の増進を図ることなどを目指し、5つの価値観（方針）を掲げています。①「共同体である価値」子ども、保護者、保育者が一つの家庭としての意識をもつ。②「喜びの価値」笑顔で接し、イベントを多く取り入れ、喜びを共有することを増やす。③「協力の価値」一つの目標に向かって、一人ひとりが考えられる自主性を養う。④「尊重の価値」。⑤「責任感の価値」

家庭の問題点をライフスタイルから見つけ出し、一緒に解決を目指す

「言葉」をテーマにしておられ、コミュニケーションや人間関係を重視して保育を進めています。



カラフルなお昼寝部屋

し理解する。

これらの価値観を中心に、毎年保育テーマを決めています。例えば、モンテッソーリの教育理念の年や発達学に基づいた教育理念の年など、さまざまなテーマに取り組んでおり、今年度は「言葉」をテーマにしておられ、コミュニケーションや人間関係を重視して保育を進めています。

## 育児相談員181人に認定証交付

### 新年互礼会

毎年テーマを変えていくことで、固定概念にとらわれず多様な方向からの教育ができ、それが子どもたちの個性を活かす能力の発展につながるからです。また、保護者や教育者への研修、サポートも行っています。例えば、日々の業務の中で、教育者が孤立しないよう、何か問題があればみんなで話しあう機会を

もち、解決方法を考えます。また、保護者には月1回のイベントへの参加を募り、交流を深めることによって、お互いを理解しあいます。保護者と教育者が一緒に学んでいく喜びを積み重ねることで、お互い日々のモチベーションを高めていくことにつながります。そういった積み重ねを継続することにより、施設と保護者

が一丸となって子どもを見守っていくことができます。最後に保育園の芝の庭に集まり、折り紙で作ったコマや手裏剣、凧糸のついたブンブンゴマのお土産を、齊藤和正団長が子どもたちに説明して見せると、歓声が上がりました。（稲荷学園C・A、E・K（鳳西）子ども園C・N（ひなぎく）子ども園K・U）

1月19日、シテイプラザ大阪で保育部会新年互礼会が開催されました。

来賓として大阪府議会議員・今井豊氏、大阪府議会議員・永野耕平氏、全国認定子ども園協会大阪支部支部長・嶋田典之氏のほか、大阪府堺市、東大阪市、枚方市の行政の方々にも出席いただきました。



# 恵まれた環境で 「新しい自分」発見 自発的な意欲育てる

保育所

## しまのうち保育園

東大阪市

「色んなことが早くできる  
ようにもなりたい」という意欲や  
主体性、生きる力をもつ子

子どもたちを育てていると、  
「色んなことが早くできる  
ようにもなりたい」という意欲や  
主体性、生きる力をもつ子

園庭の畑で育てた野菜を  
収穫し、食育クッキングを

日々の保育の中では描画  
に取り組まれ「描かされる  
絵」ではなく「語りたい絵」  
が描けるよう育てています。

0歳で初めて点や線に出合  
い、驚きや喜びを大人と共  
感し、幼児になると絵を介  
して、子どもと対話が生ま  
れます。語りたいたいがた  
くさんあり、語りたいたい相  
手が側にいる！ 幸せそうな  
子どもたちを見てみると、  
「色んなことが早くできる  
ようにもなりたい」という意欲や  
主体性、生きる力をもつ子

楽しみます。園内で毎日手  
作りされる給食とおやつは  
自然の旨みたっぷり。

アレルギー食・離乳食も  
初期から対応。食育は体だ  
けではなく、心も育む糧に  
なるということです。



保育園外観



開放感のある正面入り口

(編集委員 M・Y)

子どもたちを育てることを大  
切にしている」という保育  
園の思いがしっかりと伝  
わってきました。

また同法人の他の3園と  
交流会を行い、ともに育ち  
あっているそうです。



## 保育園・ 認定こども園 をたずねて

532



みずほ保育園外観

鉄大阪線堅下駅から  
歩いて1分。さらに  
JR柏原駅にも徒歩5分と  
いう至便の立地条件にある、  
みずほ保育園。堅下ワイン  
で有名なぶどう畑が広がる  
山と、大阪二大河川の一つ  
である大和川に囲まれた自  
然豊かな環境です。昭和56  
年に定員60人で開園。地域  
の要望に応え、現在105  
人の園児を保育しています。  
生涯にわたる人間形成に  
極めて重要な時期。子ども  
が現在を最も良く生き、心  
身ともに健康で豊かな人間  
性あふれる未来を創り出す、  
たくましい子どもに育つよ  
ます。

また、実践のひとつとし  
て合奏や鼓笛隊に力を入れ  
ています。地域の連携は強  
く、地元の行事に積極的  
に参加し、子どもたちは鼓  
笛の練習の成果を多くの  
人たちの前で披露します。

「これらの体験が心身  
ともに健康で豊かな人間を形  
成することにつながりま  
す」と優しく語る藤井謙昌  
園長。

また、実践のひとつとし  
て合奏や鼓笛隊に力を入れ  
ています。地域の連携は強  
く、地元の行事に積極的  
に参加し、子どもたちは鼓  
笛の練習の成果を多くの  
人たちの前で披露します。

家庭との緊密な連携  
の下、人権尊重・プライバ  
シーの保護を重んじ、養  
護と児童教育が一体となった  
健全な保育がなされるよう  
に職員一同、日々努力・研  
鑽しています。

家庭との緊密な連携  
の下、人権尊重・プライバ  
シーの保護を重んじ、養  
護と児童教育が一体となった  
健全な保育がなされるよう  
に職員一同、日々努力・研  
鑽しています。

## 積極的な地域連携への 取り組み

合奏と鼓笛隊の披露

保育所

柏原市

みずほ保育園



お祭りは大変にぎわいます

(編集委員 N・M)

園名の「みずほ」の由来  
である、稲穂が瑞々しく広  
がる日本古来の原風景、未  
来につながる「瑞穂」の息吹  
が感じられました。



シリーズ●より良い保育士養成のために

— 保育者のためのキャリア形成 —  
**保育職の継続と離職—指定保育士養成施設卒業生調査から(その2)**

相愛大学 中西 利恵

前号に続き、全国保育士養成協議会による指定保育士養成施設卒業生調査結果を活用し、保育職の継続と離職について考えます。  
 本号ではとくに「やりがい」を取りあげ、「現職」と「元職」の比較など多角的な分析結果から検討します。ここでは、「現職」とは現在、保育・福祉関係の職場で働いている人(4,031人)、「元職」とは卒業後、一度は保育・福祉関係の職場で働いたが現在は保育職に就いていない人(1,474人)をさします。

保育者としてのやりがい

図1のとおり、現職・元職ともに、94%前後の人がやりがいを「よく感じる・感じた」あるいは「時々感じる・感じた」を選んでいます。保育の仕事に、なじみしかやりがいを感ぜながら就労している・していたことがわかります。

やりがいの内容

やりがいを感じている約94%の現職(3,815人)

図1 保育者としてのやりがいを現職と元職で比較

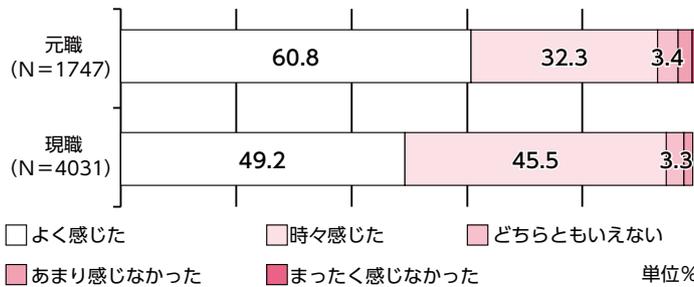


図2 やりがいの内容(上位10項目)

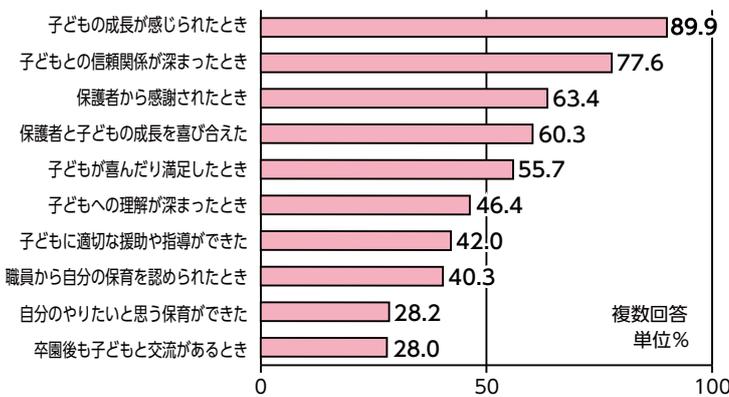
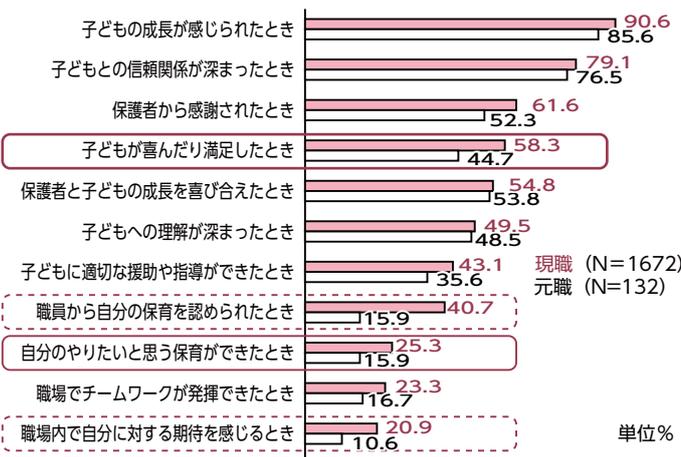


図3 やりがいの内容を卒業後2年目の現職と元職で比較



に、やりがいの具体的な内容を質問した結果が図2です。  
 最も多かったのは「子どもの成長が感じられたとき」で約9割が選択しており、子どもに直接かかわることが1,2位でした。3、4位は「保護者から感謝されたとき」など保護者にかかわること、両者とも60%を超えていました。やりがいを感ずるときは複数回答であり、1人当たり平均約6項目選択していました。

やりがいの内容を卒業後2年目で比較

卒業後2年目のみの現職と元職で比較してみると、興味深い結果が2点みられました(図3)。  
 1点目は、すべての項目で現職のほうが元職より「やりがい感」が高く表れているということ。自身の仕事の内容に対して現職の方が肯定感が高いということであり、このこと

が継続の大きな要因になっていると考えられます。  
 2点目は、現職と元職の差が大きい内容が2群に分けられることです。一つは、実線で囲った「子どもが喜んだり、満足したとき」「自分のやりたいと思う保育ができたとき」で、自己の保育に対するふりかえりが影響しています。もう一つの群は、点線で囲った「職員から自分の保育を認められたとき」「職場内で自分に対する期待を感じる」ところで、

職場内での他の職員の評価が影響しています。  
 つまり、自己の保育のふりかえりができて「できたところ」「できなかったところ」などが明確になり次の日の保育に活かせる、そんな保育者が他の保育者から期待感をもって受け止められるという職場であれば、卒業後1年以上、その職を継続しやすいということがうかがえます。

資料:全国保育士養成協議会『保育士養成資料集第50号』2009年

河内(八尾市)

さまざまに出会い  
から得たもの

八尾私立保育園連盟保育士会が、12月14日八尾商工会議所で保育士研修を実施。講師にMBSアナウンサー河田直也氏を講師に招き、95人が参加しました。

まず、「聞く・伝える・コミュニケーションをとること」については言葉の大切さを説明されました。「歯・歯・葉」のように、「アクセントや滑舌」がいかに重要か、繰り返し鍛錬が必要で苦労されたそうです。出演中の「ちちんぷいぷい」の「昔の人は偉かった」のコーナーで1日中歩いて



熱く語る河田アナウンサー

のロケをすることに、自分で歩かなければ見られないもの、出会えないことが数え切れないほど存在

すること」に気づかれたそうです。「60日間ほぼ世界一周」の企画のペルー、スペイン、ネパールの3カ国のビデオ上映とあわせ、ここでの出会いの話も感慨深いものでした。自分たちの仕事は前に出て1人で話すことが多いが、多くのスタッフとのチームワークで成立していると熱く語られ、最後までていねいでわかりやすい内容に魅了されました。

泉州

保護者対応いろは

11月7日、和泉市コミュニケーションセンターで和泉市民間保育園連絡協議会職員研修を開催、114人が参加しました。

聴く伝える・つながりを大切に、何度も繰り返し行う、自分力を上げることやチームワークの実践が重要、など保育現場にも共通する内容に改めて保育意識の向上につながりました。(編集委員C・T)

とるといふ共通の目的をもつ仲間であることを意識することが重要です。そのためには保護者を取り巻く環境や個性を知り大切にすると、理解や協力が得られやすい。共通の保育目標については「保育指針などをもう一度見直し、将来どんな子に育ててほしいか保護者と共通理解をもつことが大事ではないか」と強調されました。

「クレームの正体」という話題になると、それまでの和やかなムードも一変しました。

コミュニケーションコンサルタントの内田淑佳氏を講師に、グループワークを交えて学びました。保護者との円滑な信頼関係を築くために子どもを育

クレームとは、コミュニケーションの不具合ややりとりがうまくいかないことへの(不満)なので、保護者の認めてほしい、という気持ちを受け止めることが必要で、お互いの価値観の違いを受け止めることが大事です。

クレーム予防策としては、否定的な言葉を使わず、言葉を選ぶことも大切に保護者の気持ちもどう受け止め返すのか。今後の言葉かけや関わり方について、考える研修となりました。



グループワークを交えながら(円内は内田淑佳氏)

子ども子育て支援とは

河内ブロック

わが子を育てる「親の支援」である前に、人として「子が成長するための支援」でなくてはならない。ところが、親の都合や身勝手さを容認、むしろ優先する傾向を施策の中に感じることがある。

さて、「育児相談員」が地域貢献事業にまで活躍の場を拡大する養成を受けたことで、子どもの貧困や介護困難家庭など身近な社会問題に対応する拠点としての期待にしっかりと応えなければならないと改

はネット社会のさまざまなツールで悩みを解決できるのか、または遊びに連れて行ける場所が増えたのかもしれない。この点で確かに子育て支援の浸透を感じる。一方で虐待

イタリアの教育者モンテッソーリは「平和を実現するのは大人ではなく子どもである」と言っている。次代を担う子どもにはその可能性があり、教育こそが未来を変えるというのである。中高生の職業体験もいいが、保育や介護体験を必修にしてはどうか?と思う。

自治体によっては、待機児対策で育児休業中も上の子が継続入所できるため家にいながら5時を過ぎても迎えに来ない、母子家庭の優遇を受けながら「パパ」がいるなど。子どもが心理面や自己形成の過程で犠牲とならないかと案じるのは余計なことだろうか?

近年の育児相談は、園庭開放など来園の機会に相談を受けることが多く、電話相談は専ら一時保育に関するものである。無論これは当園に限ったことかもしれないが、最近

を受ける子どもの数が激増しているという現実がある。乳幼児に対して意思どころか生命さえ自分の勝手になると考

もつと遊ばれば、母子愛着期間に愛され尊重されると、自分も他者も愛せる子どもが育つわけだから「親の子育てを肩代わり」するより、園が「良き協力者」となる政策を願うものである。(むぎの穂保育園K・M)